

## 11 月度理事会議事録（2021 年 11 月 9 日（火）開催）

（新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大のため、11 月度理事会はビデオ会議システムにて開催した）

### 1. 会長報告（10 月 12 日（火）～11 月 8 日（月）出席案件）

- ・10 月 12 日（火）日本人会・理事会（ビデオ会議システム）
- ・10 月 26 日（火）タイサッカー女子代表兼 U-20 女子代表監督をお迎えした晩餐会（日本大使公邸）
- ・10 月 31 日（日）White Canvas 表彰式（代理出席：日時本副会長）(Palette Artspace)
- ・11 月 5 日（金）日本人会・企画推進部会・三役会（ビデオ会議システム）→欠席

### 2. 退任・新任オブザーバー挨拶

- ・西岡良樹氏（Rydeen Co.,Ltd.）より、退任の挨拶を頂いた。
- ・栗山政幸氏（国際交流基金・The Japan Foundation, Bangkok）より、新任の挨拶を頂いた。

### 3. 一般報告

#### （1）10 月度個人会員動向

入会者 51 名 退会 122 名 現会員数 4,871 名（内、準会員 52 名 会友会員 206 名）  
（前年同月 5,956 名・前年同月比 81%）

#### （2）10 月度賛助会員

〈入会 1 社〉

- ・HRI(Thailand) Co.,Ltd.（人材育成に関するコンサルティング）

〈退会 5 社〉

- ・THAI CENTRAL CHEMICAL PCL.
- ・Rydeen Co.,Ltd.
- ・Koshidaka Thailand Co., Ltd.
- ・Terminal Japan Co.,Ltd.
- ・Worachak Property Co.,Ltd.

現会員数 527 社（前年同月 575 社・前年同月比 91.6%）

#### （3）会員優待店

- ・現在の有効店数 43 店舗

※休業されているレストランも多いことから事務局にて精査しているところである。

#### （4）10 月度会館来訪者数

本館：31 名（実数 10 名）

別館：276 名（実数 144 名）

合計：307 名（実数 154 名）

（前年同月 2,978 名（実数 1,156 名）前年同月比 10.3%（13.3%））

#### 【昨年の開館状況】

・2020 年 3 月 24 日（火）より全ての会合、図書館利用、部会同好会活動などの会議室利用を中止。  
3 月 28 日（土）～4 月 30 日（木）まで、日本人会食堂「The Japan」の完全休業。3 月 31 日（火）より、夜間外出禁止令発令のため事務局の時短運営（9 時～15 時・土曜日休館）。4 月 16 日（木）～5 月 6 日（水）まで、別館を閉鎖、5 月 7 日（木）より別館窓口業務再開。6 月 1 日（月）より別館一般図書館を再開。7 月 1 日（水）より会議室の貸出再開。

#### （5）会館利用に関して

- ・10 月 25 日（月）より本館・別館ともに会議室の貸出を再開した。11 月末までの会議室利用料は

無料とする（法人利用以外）。

- ・入館時に QR コードを使用してタイチャナ（入退出管理アプリケーション）に登録していただき、安全管理のためロビーでの 30 分を超える滞在や館内飲食は、引き続きご遠慮いただく。
- ・10 月 20 日（水）より、子ども図書館を臨時開館した。ボランティア不足のため無人カウンターとし、事務局窓口にて貸出・返却の確認を行っている。

#### （6）会館貸出サービス

- ・10 月 30 日（土）に本館にて土浦日本大学高等学校の入試を行った。
- ・11 月 6 日（土）に別館にて立命館慶祥高等学校の入試を行った。

#### （7）寄付・寄贈報告

- ・小野晴代様より、会館クラブ基金に 10,000B ご寄付頂いた。
- ・本の寄贈  
メナム句会、その他 4 名より計 283 冊寄贈頂いた。

#### （8）10 月度会計報告

- ・10 月度収入は、223 万バーツ、（前年同月 318 万バーツ 前年同月比 70.2%）
- ・10 月度支出は、164 万バーツ、（前年同月 182 万バーツ 前年同月比 90.1%）
- ・単月収支は、60 万バーツ（前年同月 137 万バーツ 差額 -77 万バーツ）
- ・累計収支は、-124 万バーツ（前年同月 246 万バーツ 差額 -370 万バーツ）

#### （9）その他報告（事務局）

- ・11 月の主な会議日程と各同好会・部会など主な行事日程を確認した。

#### 4. タイ国日本人会共催/後援名義・ロゴ使用申請（事務局）

対象事業名：「日本の贈り物」展

- ・開催日：11 月 5 日（金）～12 月 19 日（日）於：チェンマイ大学アートセンター
- ・主催：国際交流基金バンコク日本文化センター
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力  
→異議なく承認された（事前に 10 月 15 日（金）付けでメール承認済）

対象事業名：タイ国日本人会×TCK Workshop 月次ウェビナー

- ・開催日：2022 年 1 月 15 日（土）2 月 12 日（土）3 月 12 日（土）4 月 16 日（土）5 月 14 日（土）6 月 11 日（土）7 月 16 日（土）8 月 13 日（土）9 月 10 日（土）10 月 15 日（土）11 月 12 日（土）12 月 10 日（土）
- ・主催：TCK Workshop
- ・要請事項：ホームページやソーシャルネットワークサービスを通じた会員への告知  
→異議なく承認された

#### 5. 準会員申請

Mr. Haruesit Wongdara 1 名より準会員申請があり承認された。

#### 6. 2022 年度予算策定スケジュール（堀尾理事）

- ・予算審議委員として重松理事・土田理事・太田理事に委嘱した。
- ・2022 年度予算策定スケジュールについて確認した。通常 12 月の理事会で予算方針を説明しているが、今期は前年に引き続き、本理事会にて、発表することとしている。本予算方針をもとに、12 月より各部傘下の団体への説明を行い 1 月初旬に事務局宛てに 2022 年度予算書を提出、1 月下旬、事

事務局が取りまとめのうえ、各部長へ事務局案を提出するので、各部長にてご検討頂きたい。各部長に検討頂いた予算案を基に、2022年2月下旬に予算審議員会を開催し、3月の理事会にて予算審議委員会より予算案を提出するので、審議頂きたい。

・来期の予算の前提となる2021年度収支見込を報告した。長引くコロナ禍で会員減が続き、当初予算5,800名の会員に対して、4,756名の見込となり、個人会費・入会金・賛助会費で297万Bの減少、その他、広告収入や会館利用料・食堂家賃の減免、2021年度第1回・第2回の英検中止などで、全体としては594万Bの収入減となる見込みである。一方で支出については、人件費の抑制や会員減による郵送物の減少、各部の活動休止に伴う費用減、別館家賃の減免や閉館に伴う光熱費の減少、英検の中止、印刷業者の見直しなどで554万Bの支出減となった。結果、当初予算の240万Bの赤字から、見込では280万Bの赤字を見込み、支出の抑制を図っても赤字幅は基本予算より40万B拡大する見込みである。

・2022年度の予算方針としては、コロナ禍における会員減のため収入の回復は難しいと判断し現状の会員数4,800人をベースとする。支出については抑制された本年度実績見込み程度として、各部には更なる経費節減をお願いしたい。結果、2021年度に続き、赤字予算となるが、200万B程度の赤字幅に収まるよう予算組をしたい。全体としては、2021年度基本予算から-15%を目標に各部に予算建てをお願いしたい。

・2018年度から検討してきた経費削減・収益拡大の策については、ほぼ実施が済んでおり、コロナ禍で先延ばしにしている会館統合・会費の値上げについて検討する時期に来ている。

・別館の家賃について、2014年の契約では、2022年3月から値上げとなる予定だったが、事務局にて交渉の結果、1年延期した2023年3月からの家賃値上げとなった。管理費は据え置きとなるものの、家賃は10%の値上げ、月間で1.7万Bの支出増、年間で20万Bの支出増となる。

#### 7. 2021年度チャリティー基金運営委員会（事務局）

・規定に基づき、重松チャリティー基金運営委員長より、福田チャリティーバザー実行委員長・荻原チャリティーバザー実行副委員長・竹井チャリティーバザー実行副委員長に運営委員を委嘱した。一般会員からは、昨年のバザー実行委員代表の有志より選出した。

・昨年同様一般公募とし、申請期間は2021年11月15日（月）～2022年1月14日（金）、2022年2月4日（金）に第一回チャリティー基金運営委員会を開催し検討し、2月8日（火）の理事会にて、報告・審議、その後、3月～4月にかけて寄付金を贈呈する予定でいる。

#### 8. 2022年度理事監事選挙スケジュール（事務局）

・2022年2月21日（月）公示日・立候補受付開始。3月21日（月）立候補受付締切。定員未満の場合は、3月22日（火）当選者確定。定員以上の場合、選挙となり4月18日（月）～20日（水）不在者投票日、21日（木）定期総会当日投票日。

・従来通り選挙管理委員長をJETRO（日本貿易振興機構）の竹谷所長、副委員長をJICA（国際協力機構）森田所長にお願いすることとしている。

#### 9. 各部・各委員会報告及び提案等（発表順）

##### （1）教育部（田中理事）

・11月5日（金）の三役会にて、2021年度第3回英検の開催の可否について検討し実施することとした。実施にあったっては、本館のあるバーンラック区の指導に則り、十分に感染対策をとった上で開催する。

##### （2）事業部（日高理事/日高洋行）

・内堀堂守の10月の活動を報告。

ワットリアップの活動に4回参加、納骨堂堂守としての供養・法要を5回実施頂いた。会館再開

を受け、10月26日（火）本館にて写仏会を開催、赴任後初めての会館での活動となった。

（3）青少年部（日高理事/日高洋行）

- ・10月25日（月）より会館の会議室貸出を再開したことにより、演劇・柔道・剣道・ブラスバンドが対面で活動できるようになった。その他のサークルも施設の開放状況に応じて再開予定である。
- ・11月28日（日）に、別館にて演劇サークルが定期公演会を開催する。

（4）文化部（吉田理事）

- ・10月25日（月）からの会館利用再開に伴い、同好会も活動を再開している。
- ・民舞・日舞・よさこい同好会は毎週水曜・金曜に別館にて無料体験会を開催、編み物・手芸の会が11月24日（水）に編み物講習会を開催するなど、会員誘致に繋がるイベントも企画されている。

（5）クラブ部（土田理事）

- ・食堂厨房から水漏れが起こっており、改修作業が必要とのことで、トークンと他業者の見積もりを査定しているところである。修繕に必要な経費は会館クラブ基金にて対応し、12月の連休を利用して工事する予定である。

（6）広報部（富永理事）

- ・無料情報誌については、ダコ、ニコラボ、ワム、パノラ、の4誌に掲載する広告を紹介した。ダコ、ニコラボはウェブ広告のみとなっている。
- ・10月のホームページアクセス状況は、訪問数10,410、閲覧数22,139で、LINEにて図書館再開に関する記事を配信した日に多く閲覧された。前年同月比は、訪問数108%、閲覧数78.8%。前月比は、訪問数71.8%、閲覧数79.9%であった。タイからの訪問数は65.9%、日本からは29.2%。前月と比較し、タイからは34.7%、日本からは15.2%減少している。
- ・LINEは8回の配信、登録者は前月より42名増加し、5,882名（有効者数3,958名）
- ・Facebookは72回の投稿、登録者は前月より39名増加し2,887名。JICAオンライン出前講座のお知らせと、会報誌クルンテープの特集紹介を案内する投稿がリーチ数最多となった。バムルンロード病院との共催イベント『コロナ禍におけるWomen's Health』について、10月5日～7日および10月14日～17日の7日間、有料広告を掲載したところ、リーチ数32,659という高い効果が得られた。
- ・インスタグラムは28回の投稿、登録者は前月より26名増加し、1,231名。イベント企画と連動したことでフォロワー数は増加したものの、アンフォロワーも多く、全体的には微増に止まった。
- ・10月8日（金）に開設したTwitterは19回投稿し、フォロワーが864名となっている。

（7）企画推進部（富永理事）

- ・10月19日（火）、日本政府支援イベントとして、バムルンロードインターナショナル病院との共催で『コロナ禍におけるWomen's Health』をオンラインで開催した。講師はサシトーン医師、田中医師、志村看護師。乳がん検診や婦人病、メンタルヘルスについてお話しいただき、85%の人が満足するイベントとなった。
- ・10月28日（木）、JICAとの共催第5弾として『タイ農村の経済活動支援』をオンラインで開催した。講師は、JICAタイ事務所の水上貴裕氏、コミュニティ起業家振興プロジェクト・JICA専門家の尾崎嘉洋氏。SDGsを達成するための一つのチャレンジとして、JICAがタイ内務省コミュニティ開発局と協力して行うコミュニティ起業家振興プロジェクトの取り組みや、コミュニティ体験観光についてお話しいただいた。
- ・11月19日（金）、HRI(Thailand)Co.,Ltd.との共催で『異文化コミュニケーションのノウハウ・ドゥハウ』をオンラインで開催する。講師は同社の江草嘉和氏。

・12月2日(木)、日本政府支援イベントとして、『傾聴力～相手を理解する聴き方を身に付け関係力をアップしよう～』をオンラインで開催する。講師は、キャリア開発サポーターズ代表取締役の浅野衣子氏。

(8) 食堂運営委員会(石井理事)

・食堂売上10月は、539,490B(前年対比57.9%)であった。タイ人顧客は1,626名、邦人顧客は336名、総顧客数1,962名、会員利用者延べ人数は57名、実数29名であった。

(9) バンコク日本人学校(谷口校長)

・10月27日(水)より分散登校を開始した。11月12日(金)より6時間授業を再開し、児童・生徒の安全が認められれば11月29日(月)より完全登校とする予定である。

(10) 婦人部(事務局)

・10月26日(火)、オンラインにて『陛下の映画』が映した日本を開催した。講師は京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科の櫻田智恵氏。タイの人々と王室の関係や、日本の皇室との結びつきの深さについてお話いただき、97%の人が満足するイベントとなった。

・11月23日(火)、JTB タイランドの協力を得て、オンラインにて『気軽に出かけられるタイの観光スポット』を行う。

(11) 事務局報告

・10月1日より開講した、タイ人向け日本語教室の様子を報告した。目標集客数を2名上回る17名で開講し、収益は13,795バーツと目標収支142.9%を達成した。

・バーチャルランイベントの最終申込者内訳と順位発表、各賞について情報共有した。協賛品については、タイ国政府観光庁より国内旅行振興につながる賞品を追加でご提供いただき、合計45社からの協賛となった。

・2007年1月に導入した会員システムの老朽化にともない、2020年11月から進めている新会員システムの導入について進捗状況を報告した。コロナ禍により第一フェーズ(旧システムから新システムへのデータ移行)の納期が大幅に遅れたが、今後は第二フェーズ(ホームページに会員管理画面を作成・その他電子化)へ向けて準備を進めていく。

・2022年の企画推進会議・三役会、理事会の開催予定日を確認した。

・12月の企画推進会議・三役会、理事会の日時を確認した。

8. 10月度理事会議事録承認

→異議なく承認された

9. 理事会出席者(敬称略、順不同)

・島田会長、日時本、田中、福田、加藤(三井物産)、各副会長、加藤(トヨタ)、堀尾、太田、小田原、吉田、桐生、土田、日高(日高洋行)、富永、石井各理事、朽木、大竹各監事、松前大使館代表、高橋報道代表、谷口日本人学校校長、森田 JICA(国際協力機構) 所長、石川 JETRO(日本貿易振興機構) 代表、栗山国際交流基金代表、西岡タイ情報誌制作代表、事務局(村上・安達・松田)